



CIESF NEWS LETTER

シーセフ ニュースレター

2017 May

第 40 号

公益財団法人 CIESF(シーセフ)は、非営利で国際的な民間の支援団体です。基礎教育の質の向上を主な目的とし、その上で高度人材育成も行い、カンボジアをはじめとした途上国の発展を支援します。

シーセフ・リーダーズ・アカデミーが半年をむかえました！

CIESF Leaders Academy(シーセフ・リーダーズ・アカデミー、以下 CLA)は、昨年 9 月 28 日に開園式を迎えてから約 7 か月が経過しました。日本の幼稚園・保育園の協力のもと日本の幼児教育のカリキュラムを取り入れ、日本語・現地語(一部英語も)、算数、体育、音楽、しつけを教え、「智」「徳」「体」のそろうた幼児を育成しています。

開園当初は、泣いている園児が多く、親も先生もスタッフも慣れることに必死でしたが、今では園児も先生も共に成長しています。また、園運営に対する親御さんの理解も深まってきていて、様々なご協力をいただける関係になっています。

カリキュラムの「知」「徳」「体」に沿って、この半年の報告をいたします。

智



(あたま)「智を磨く」

12 月には、CLA の立ち上げに協力してくださった幼稚園の園長先生にお越しいただき、実際に絵本の読み聞かせなど、直接に指導をしてもらい、先生たちも教え方を学ぶことができました。フラッシュカードを使い、日本語や数字、国旗や図形等の勉強を行うことで、理解も進み、基礎能力が着実に身に付いています。

徳



(こころ)「徳を養う」

カンボジアでは、ゴミをゴミ箱に入れることや、靴を並べるといった習慣がありません。また、子どもの靴を親が手伝って履かせるのが当たり前の文化なので、なかなか園児たちが自分で靴を脱いで履き替えることができません。しかし、先生の指導のおかげで、現在ではゴミを捨てること、靴を下駄箱にしまうこと、靴を自分で履くことなど良い習慣が当たり前になってきています。

体



(からだ)「体を鍛える」

体操では、ひまわり組(3・4 歳児)は 1 年で壁逆立ちを全員ができることを目標にしています。現段階では 21 人中 17 人の園児たちができるようになっており、子どもたちの成長、吸収力に驚かされます。開脚や手押し車なども行い、強い体を作るために日々、鍛えています。また、体育座りで並ぶこと、お友達の演技を見て待つことなども学んでいます。

CLA では、通常カリキュラムだけではなく、遠足や音楽活動などの課外活動も多く行い、園児たちの好奇心を高めたり、感受性を育成しています。

ご寄付、ご協力して下さっている企業や団体の皆様には、大変感謝しています。ありがとうございます。今後も、シーセフでは園児たちがすくすくと成長し、カンボジアの未来のリーダーになれるよう、サポートしていきます。